



最新の下関の自然史に関することや当館が得た標本のこと、新たな標本作成方法や採集道具の作り方などをわかりやすく、簡単に紹介した展示の説明用のチラシです。

発行：
令和元年12月20日

下関の海浜で見られるハサミムシ

- ①オオハサミムシ：体長25～30mm。内陸にも生息する広生種です。ハマベハサミムシは波打ち際にも多く見つかりますが、本種はそれよりやや内陸の海浜植物が生育している場所にある流木や石の下などで見つかります。
- ②ハマベハサミムシ：体長25mm前後。海辺でもっともふつうに見られるハサミムシ。海辺に打ち上がった海藻や流木の下などで多く見つかります。体色は光沢のある黒色で、肢は黄白色から黄褐色。
- ③イソハサミムシ：体長30～40mm。海岸性種。レキ浜の石下や岩礁の隙間、岩礁に打ち上がった漂着物の下などの波の影響を受けるような海岸に生息。

